

【新型コロナ元年と石川会長期の3か月を振り返る】

監事・親睦・IBC・DBC 光永尚生

2020年の元旦は、今年はオリンピック・パラリンピックイヤーであり思い出に残る1年になりそうな予感がありました。YMCA東山荘の200名を超えるお客様と、富士山のご来光と一緒に見ることもできました。1年を振り返っても、いろいろと計画していたことは順調でした。思いだそうとしても、クラブの皆さんとの楽しいことや、仕事や地域の人たち、そして家族との時間も楽しいことばかりが浮かびました。

そして、3月になり、突然の変化がやってきました。新型コロナウイルスという聞きなれない病気です。私たちの誰もが予想だにしなかった、新しい困難の時代が幕を開けました。「好事魔多し」といいますが、まさに、そのような時でした。

昔話で恐縮ですが、「ラブストーリーは突然に」という歌やドラマがあるように、雷に打たれたように、瞬間に舞台が暗転しました。それからの、3か月を、6月末の今、いろいろと思いだそうとしているのですがなかなか、思いだせていません。DBCを結んでいる京都クラブとの楽しみにしていたDBCはもちろん延期。

役員会、例会も何となく中止から、無期限の延期へ。仕事に関しては3月に異動が決まり、存外の東京への転勤となり、千葉県への転居。三島クラブからどんどん離れていきました。YMCAでは、「離れていてもつながっている」を合言葉に多くの場所から、ZOOMという新しいテクノロジーの力を借りて今までにない価値を見出してきました。三島クラブでも、徐々に、その存在が認識されて、役員会や準備会がZOOMで行われるようになってきたことは嬉しいことで、皆さんの顔が近くに見えながら話ができることに、喜びを感じています。

ピーターティールという人は、「ZERO TO ONE」という本の中で私たちには、未来を変える力がある。それをテクノロジーと呼ぶ。と言いました。まさしく、テクノロジーが、一瞬にして私たちの社会をNEW NORMALへと導いてきた象徴が、ZOOMによるWeb会議です。

「はなれていてもつながっている」私たちの新しい日常、社会の変化はひと、もの、お金、情報の全てに影響を与えています。おそらく、社会にとどまらず、資本主義の生活でも、ポストキャピタリズムと呼ばれる、次の社会への入り口に差し掛かっているように感じます。

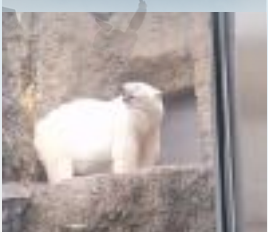
そのような時代の中で、私たちのワイズメンズクラブの活動や自分の生き方を考える時、いつも思うのですが、「もうひとつの生き方」が大切だと感じます。「もうひとつの生き方」とは、本来は、ボランティアリズムについて岩波新書から出された、本の名前ですが、私はワイズメンズクラブを通して、もうひとつの生き方を実践することが、私たちの生活や生き方をより豊かにしてきたのではないかと考えています。資本主義の社会でとても大切な考え方です。今からの時代、ポスト資本主義となった場合ポストもうひとつの生き方とは何か。それは、物の価値が変わったり、価値そのものがなくなったり、今までの常識が非常識になったりと完全に「ZERO TO ONE」へ向かう世界かもしれません。私たちワイズメンズクラブが、ゼロから何をひとつ生み出していか。これからは、そのことが、共通の課題だと思います。

まず、具体的な今年から次期の日吉会長期には、石川会長期にはできなかった、クラブツーリズムを始めたいと考えています。自分が訪れた場所、訪れたい場所、そしてお連れしたい場所など、皆様にプリテンで紹介し、プリテンで旅行し、プリテンを通して会話していきたいと思えます。ここでも、はなれていても繋がっていることの実践を目指していきます。

タイトルは、「くまもんおじさんの、三島クラブぶらタモリ紀行」とします。

第1回はどこでしょうか、次期の三島クラブプリテンをお楽しみに。

【添付写真は第1回連載開始記念の場所となります】わかりますか？



Y's Men's Club of MISHIMA

例会日：毎月第三火曜日 18:30-20:30 三島ワイズメンズクラブ CHARTERED OCTOBER 7.1977

例会場：松韻 静岡県三島市中田町1-16 TEL.055-973-2678 <http://www.showin.jp/>

会長：石川 敏也 | 副会長：A 渡邊 近子, B 日吉 和代 | 書記 相川 毅 | 会計 藤田 小夜子

No.
511
2020.06

主題： 東日本区理事 「勇気ある変革、愛ある行動!!」 山田敏明
国際会長 「よりよい明日のために今日を築く」 Jennifer Jones 富士山部長 「共に歩もう、素晴らしきワイズ」 長田俊児
アジア・太平洋地域会長 「アクション」 田中博之 三島クラブ会長 「ワイズたるを知る」 石川敏也

強調月間

評価

今月の言葉：主に望みをおき尋ね求める魂に、主は幸いをおあたえになる。(哀歌3章25節)

【コロナ禍の2019-2020年度、収束ならず次年度に】

会長 石川 敏也

2019年7月から2020年6月まで、皆さまには本当にお世話になりました。三島クラブでは会長2巡目（すでに3巡目を経験した強者もいます）ということで、同様に他クラブも何巡目？などと声をかけ合うような状況ですから、あまり緊張感のないスタートであったのは申し訳なくもあり、ありがたくもありました。ところがまさか、こんなことになるなんて。

今年1月、コロナはまだ対岸の火事でした。最初のコロナ報道は1月4日の「中国で原因不明の肺炎患者」というニュース。16日には武漢からの帰国者の感染が判明し、国内初の感染として報じられ、28日には渡航歴のない初感染が伝えられ、29日には邦人チャーター機第一便が武漢に到着と報じられました。2月になると、豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号内での感染が発覚し、毎日話題になっていました。そして、22日・23日あたりから一気に国内感染拡大が報じられるようになり、27日に突然の休校要請。28日には北海道が独自に緊急事態を宣言。3月に入ると東京大阪で感染者が急増し、25日にはついにオリンピック延期が正式に決まり、夜には小池都知事が自粛要請会見を行いました。そして、30日には志村けんさんが亡くなりました。

三島クラブでは3月3日の役員会を最後に、例会および役員会を6月末まですべて中止。予定していた各種イベントも主催者側より中止の連絡が相次ぎました。4月3日には第23回東日本区大会の中止の報が、東日本区理事の山田敏明ワイズよりもたらされました。各クラブ会長あてに一本一本書きをして中止を伝える山田理事に、たいした言葉もかけられなかったことが今でも悔やまれます。

そして今、いまだコロナ禍の出口は全く見えておりません。次期会長の日吉ワイズは難しい船出を強いられております。役員会、例会の開催方法も今までにない新たな試みが必要となることでしょう。しかし、ここまで経済が落ち込んでいる中、各種ボランティア団体は生き残っているのでしょうか？いまや公人および一部の経済的余裕のある高齢者以外はすべて、ボランティアされる側になってしまう可能性もあるのです。メンバーはさらに減っていくでしょう。今まさに日本のボランティア精神が試される時が近づいています。

次年度、どのような活動ができるのか皆目見当が付きませんが、まずは次期会長にバトンを渡せることに感謝しております。もちろんコロナ付ですが(笑)

1年間、皆さま本当にありがとうございました。

今後の予定について：

★7月5日（日）富士山部役員会@熱海聚楽ホテル

日吉次期会長・光永次期書記・鈴木次期富士山部事業主査

★7月7日（火）19:00~20:30 第一回役員会byZOOM

ZOOMにてリモート開催、パスワード、ミーティングIDについては、メールリストを確認ください。

議題は、石川会長年度事業報告・会計報告・監査報告、日吉会長年度事業計画（案）・予算計画（案）、今後の活動について意見交換等

★7月例会及び定時総会については、7月7日の役員会で詳細を詰めますが、下記の通り検討中

7月21日（火）18:30~@三島市民活動センター（本町タワー）

ZOOMでの参加も可とする予定。

HAPPY BIRTHDAY

06/21 大村Ys
06/25 鈴木Ys

2019-2020年度
東日本区表彰

- ・CS献金達成賞
- ・出席率優秀賞（96%）
- ・BF献金達成賞
- ・TOF献金達成賞
- ・RBM献金達成賞

第11回 農園だより



農園委員長 藤田小夜子

第43期の農園委員会として最後の農園作業ジャガイモの収穫を6月20日(土)と21日(日)の2日間に実施した。梅雨時なので天候が心配されたけれど、両日とも絶好の収穫日和で朝8:30~集合し、10時30分には作業が終わった。

今年のジャガイモはメークインとキタアカリの二種類でしたが、どちらも良い出来だと参加者のことばを頂いた。「コロッケ、じゃがバター、肉じゃがにしたよ。」と、参加した方々から連絡を下さったのは嬉しかったです。

因みに、6/20(土)の参加者は岩田ワイズ、岡田ワイズ、鈴木ワイズ、日吉ワイズ、岡田パートナー、藤田、御殿場クラブから、芹沢ワイズ、金光ワイズと宮沢先生の9名。

6/21(日)は青木ワイズ、岩田ワイズ、大村ワイズ、鈴木ワイズ、福田ワイズ、渡邊ワイズ、大村メネット、大村孫メット(2名)、藤田、御殿場クラブから、内海ワイズ、神野ワイズ、前原ワイズの総勢13名の久しぶりに沢山のメンバーでの収穫作業で、疲れはしたけれど楽しかった。

特に、大村孫メットと岩田ワイズの動きには本当に頭が下がりました。収穫は出来ても集積所へ運ぶのにはメンバーだけでは、とても手に負えない処を黙々と運んでもらえたからこそ、今期最後の農園作業、ファンドも無事終える事が出来、大いに助かりました。また、声掛けをするといつも誰かが駆けつけて下さる御殿場クラブのメンバーの協力には大変有難い一年でした。最後に、報告とお礼を宮沢先生にお伝えすると、近いうちに除草剤を撒いて下さるとの事でした。何から何まで宮沢先生頼りの農園事業で感謝の思いで終わった石川会長年度でした。皆さん、有難うございました。



1年を振り返って

EMC・YMCA委員長 岡田美喜子

石川会長のもと、今期は会員増強や会員意識の高揚など、委員会としての活動がほとんどできませんでした。3月以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止から例会等も中止となり、会員からの情報収集もできず、会員増強の雰囲気ではなくなってしまいました。目標は「会員数15名」でしたが、達成することはできませんでした。

2019年11月から開始したFacebookによる三島クラブの活動発信は、例会やすこやかふれあいまつり、農園作業の様子など7回行うことができました。徐々に「いいね」の数が増え、フォロワーも198人獲得することができました。ブリテンの掲載ができていないので、今後の課題にしたいと思います。

【結局、何も新しくできなかった...】

会報・広報委員長 相川 毅

今期、最後のブリテンを作成しながら「結局何も変えられなかったな」と感じています。最低限のことだけこなしながら過ごしてきてしまって、誠に申し訳なく思います。書記の反省でも書きましたが、課題はマンネリからの脱出でしょうか。次期は、石川委員長となるので、きっと前向きな、新しいアイデア満載のブリテンや、広報活動になると思います。が、本当は同じ人が継続でやってしまうと、なかなか変わらないのです。クラブの活性化も含め、みんなが新しいことなどに挑戦する気持ちが、もっと前面に出るといいかななんて思います。

一年間、原稿の提供をいただきまして、本当にありがとうございました。石川次期委員長にはお任せします！

慣れとマンネリからの脱出が課題か！←私のことです。

書記 相川 毅

三島クラブ書記として、数年間を過ごしてきました。入会して半年で最初の書記を務めることとなった頃は、メンバーも、時代も、日本もずいぶん変化して来ました。そんな中で、自分はどの程度変わったのだろうと考えたとき、何もわからなかった最初の頃は、すべてを必死に、三島クラブの為に思いながら、とにかく「やること」が大切だったと思います。ところが、慣れというのは怖いもので、やらなくてはならないこと、やらなくてもなんとかかなるもの、クレームに対する「なんとかしなきゃ」→「そこまで言うなら、自分でやれば？」という感覚。何もわかっていないくせに、わかっているふりをしてしまう自分などなど。変化の無いところに進歩は生まれれないと言うことは、社会経験上十分に理解しているのに、ワイズにそれを活かせていない。また、言い訳が多いことも気になる。できない理由ばかり。要は、逃げていたのかもしれない。次期は、日吉新会長と光永新書記が、困難な時代の新しい三島クラブの未来を創出して行ってくれるものと思って、執行部の一員として今までの失敗を今度こそ活かしながら、微力ながら三島クラブの発展に協力できれば幸いです。役職に対し力不足でしたが、すべてのメンバーに感謝申し上げ、今度の役は、私にとって役不足と言えるくらいになると良いですが、まあ、無謀な希望ということで、ご容赦いただき、今期の書記を退任させていただきます。日吉新会長と光永新書記、三島クラブの新しい扉を開け、明るい未来に向かって行ってください。石川会長、本当にお疲れ様でした。また、頼りない書記となってしまうこと、心からお詫び申し上げます。今期最後のご挨拶とさせていただきます。

【次年度に向けて】 次期会長 日吉和代

会長主題「和・楽で活動を!!」基本方針 和気愛々と楽しくボランティアを皆で楽しく和気愛々と活動して行く明るい笑顔でスマイルをたやさず活動していけたらと思います。事業計画としてだがしや楽校、市民ふれあい広場、東山荘、恵明学園、見晴学園の支援活動、ワイズ農園の維持管理、絵画コンクール等に参加し活動出来ればと思っていますが新型コロナウイルスによる非常事態宣言の発令3蜜を避ける重点にするとどこまで事業計画が実施出来るか懸念されます。役員会・例会も開催出来るかわからず大変な事態になって来ましたが出来る限り1つでも実行出来れば幸いと思っています。こう言う非常事態です。皆で力を合わせのり切って行けたらと思っています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

次年度に向けて

絵画コンクール委員会・農園委員会委員長

藤田小夜子

絵画コンクール委員会から 結論から言えば中止にせざるを得ませんでした。次年度の絵画コンクール開催の為に、今期の要領で、手順を追って3月の中旬には三島市と教育委員会に後援のお願いにゆき、3月の末には了解の返事を頂いて居ましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で三島市のイベント・行事は軒並み中止。肝心の学校が始まらない。とても無理なこととして申請を取り下げました。

農園委員会からこの文章を書いているときは、農園委員会としては、今期最後の農園作業でジャガイモの収穫ファンドが目前というところです。家の中での自粛生活が長かっただけに、富士山を目の前にして久しぶりにメンバーの面々と顔を合わせ、自然のなかで収穫の喜びを分かち合いたいものです。

さて、次年度は7月の末には人参、大根の種蒔きから始まります。農園は天気のご機嫌を伺っての作業です。それと人手のいる作業です。宮沢先生のご指導と御殿場クラブの協力が本当に助かっております。有難いことだと感謝していますが、やっぱりメンバーの協力無しでは立ち行きません。

次年度は、作物の種類や数量を減らしたり、お手伝いをして頂ける人の発掘に向けて努力をしなければ成らない年かなと憂慮しています。

でも、作物は愛情を持って手入れをして上げるとそれに答えてくれて楽しいですよ。自然と向き合うのは気持ちいいですよ。あと一年、農園委員長として頑張ってみます。

メンバーの皆さんご協力をお願い致します。

三島クラブの2020年度活動に向けて

大村 俊之

社会現象の激変と今後の動向が掴めない中、今何をしていいのか、ワイズは今何をすべきかを考えても簡単には方法を思い浮かべることができないのが現状です。

クラブとしては余りにも課題が多すぎて手をつけるのに何処からが妥当であるか、どのようにすれば最も有効なのかなど判断が難しいというのも本音です。

しかしそういっていても前進することにはなりません。三島クラブのメンバーとして名を連ねているからには何らかの意思表示をして、少しでもいいから前に進みたいと考え、次の2項目を皆の課題とあげてみました。

1. 会員の増強運動のあり方見直しを提案し、これまでのお題目のような呼びかけから脱皮する。(EMC担当の時、メンバーの中には自分がアタックしようという本気度が感じられないことを経験した)

2. クラブの力に合った奉仕活動を地道に行い、活動を楽しむ心の豊かさを保持する。

私自身は80歳を越えて行動力と活動力の限界を悔むばかりですが、クラブメンバーの高齢化も考慮し、寛容と柔軟性を心して「監事役」を務めたい。そして半世紀余のワイズ歴から「出来ること探し」を今年も続けようと思います。

三島クラブのワイズメネット委員長に再登板します！

メネット 大村 知子

ワイズメネット委員長に再登板する2020-2021年度は、ウイルス感染防止による自粛の下でのスタートとなるので、従来のようなワイズ活動への協力やメンバーとメネットとの協働事業も企画・実施が可能かと危惧しています。4人のメネットがワイズの活動に笑顔で参加する機会が多いことを願っています。メネット歴の長さやフットワークとが反比例していますけれど、気力と重量とでカバーしたいと思っていますので三島クラブの皆さまどうぞよろしくお願い致します。

個人的には、東日本区ワイズメネット委員会委員をやっと卒業します。今期後半は活動休止状態でしたので消化不良のままゴールテープを切ることになりそうです。委員会ではどんなことにおいても、委員の慎み深いお人柄と奉仕精神に学ぶことが多い4年間でした。富士山部以外の部大会やクラブ例会に参加する機会にも恵まれ、のワイズ活動の内容や方法の多様性についても知ることができました。そして広域のワイズメン・ワイズウイメンと交流ができ、多くの知見を得られたことも嬉しいことでした。振り返ってみて、時間のやり繰りや経済的負担も今になっては苦にならないほど貴重な経験ができた4年間だったといえます。今後、これらの経験から三島クラブワイズメネット活動の参考になりそうなことを提案していきたいと思えます。

結びにこの間の三島クラブの皆様のご理解に深謝致します。また、外出が続いても快く参加に賛同し、時には遠路同行するなど協力を惜しまなかった夫(俊之ワイズ)にも感謝です。

三島ワイズメンズクラブ 2020年6月号ブリテン

<発行:会報・広報委員会(相川・石川・光永)>

掲載内容に関することは☎090-1415-0386(相川)まで、お気軽にお問い合わせください